

義援金ありがとうございます

稲美町共同募金委員会に寄せられた義援金は、中央共同募金会へ送金し被災された方へ配分されます。(義援金は所得税控除の対象となります。)

【受付場所】 稲美町社会福祉協議会 事務局 平日8:30~17:15 ☎079-492-8668

令和6年能登半島地震災害義援金

受付期間：令和7年12月26日(金)まで 令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震により被災された地域を中心に支援する義援金です。

(R7.1.15~R7.2.7受付分)

Table with 2 columns: 氏名(敬称略・受付順), 金額. Row 1: 匿名, ¥5,000

参加者募集 ボランティアグループ きっかけの輪づくり応援団 金のわらじ主催 男性25~35歳、女性年齢フリー

♪出会いを応援します♪ 日時) 4月20日(日)10:30~13:00 (受付10:00~10:20) 場所) 稲美町立加古福祉会館ホール (稲美町加古4369-3) ※駐車場多数あり 内容) アプローチカード、トークタイム等 対象) 独身で結婚をまじめに考えておられる方 参加費) 男性:1,000円 女性:500円

【申込方法】 ①QRコード ②郵送 稲美町社会福祉協議会 金のわらじ婚活イベント係まで返信用封筒を送付してください。後日、申込用紙を郵送いたします。(送付先住所氏名記入の上110円切手貼付要)

4/9(水) まで

令和6(2024)年度 歳末たすけあい報告

あたたかいご協力ありがとうございました

Table with 3 columns: 収入, 令和6年度実績(円), 備考. Rows: 戸別募金(1,114,808, 7,432戸), その他(197, 利息), 前年度繰越金(87,935), 合計(1,202,940)

歳末たすけあい募金は、赤い羽根共同募金の一環で、町内の支援を必要とする方が安心して新年を迎えられるようにと行う募金です。(運動期間 毎年12月1日~31日)

Table with 3 columns: 支出, 令和6年度実績(円), 備考. Rows: 歳末配分金(544,000, 75世帯161名), 火事見舞(50,000, 1世帯), 特別支援学校修学旅行助成(270,000, 27名), 保育園助成(300,000, 4園600名), その他(38,940, 事務費), 合計(1,202,940)

善意の預託ありがとうございました

(令和7年1月受付分)

Table with 4 columns: 金銭等, 氏名(敬称略), 金額, 内容. Rows: 匿名(¥7,136, 寄附), 匿名(介護用品数点, 寄附), ファミリーマート稲美五軒屋店, 稲美蛸草店(食品15kg, 寄附), 旭食品(食品120kg, 寄附)

社協のつばやき

3月になると、風の中に少しだけ春の気配を感じます。この季節は、卒業や転職、引っ越しなど、大切な人との別れが多い反面、新しい出会いも待っている時期です。別れの寂しさに心が沈みがちですが、その一方で「新しい環境で頑張ろう」と前向きな気持ちも芽生えますね。桜が咲くころには、きっとまた新しいご縁や思い出が増えていくことでしょう。春は出会いと別れが交差する、不思議な季節。ひとつひとつの瞬間を大切にしながら、次の一歩を一緒に踏み出したいですね。皆さんにとって、この春が素晴らしいスタートとなりますように。(K.K)

社協だより 月刊広報 稲美の社協さん ひとりはつちをつくらない地域づくり 稲美町社会福祉協議会キャラクター まいまいちゃん(左) コスティアちゃん(右) 令和7年(2025) 3月号 NO.342

兵庫県こうのとりの賞 受賞おめでとうございます

兵庫県こうのとりの賞は、地域において実践活動や住民活動を続け、参画と協働による地域づくりに貢献されている個人に表彰される賞です。稲美町ボランティア連絡会から以下の方が表彰されました

- ◆高島 達夫さん (いなみ会) ◆高野 洋一さん (いなみ会) ◆松原 宏子さん (傾聴ボランティア「陽だまりの会」) ◆後藤 美和子さん (BOOKフレンド) ◆別所 聖示さん (POPスター)



▲表彰式にて (R7.2.4)

暮らしの法律相談 司法書士相談

登記・相続・遺言・成年後見などの相談に応じます

【日時・場所】 原則毎月第1木曜日 13:30~15:00 総合福祉会館 原則毎月第3木曜日 13:30~15:00 母里福祉会館 【予約先】 ☎079-492-8668 前月1日9:00~先着順にて予約受付 (1枠30分、3枠まで) 【今後の日程】 3/6(木)コミュニティセンター会議室・3/20(木)休み (*3/6のみ開催場所が変更となっています) 4/3(木)総合福祉会館・4/17(木)母里福祉会館 5/1(木)総合福祉会館・5/15(木)母里福祉会館

カタリバ 稲美のおとなりさん

たき火を囲んで語りましょう 3月14日(金) 18:00~20:00 雨天中止 参加無料 (ご自身の飲み物持参でお願いします) 稲美町社会福祉協議会 在宅サービスセンター駐車場 (稲美町加古5141) たき火を見るだけでもいい 誰かと話したくなったらおとなりさんと話してもいい ごちゃまぜに集える場 ただ火があるだけの場 よかったらお越しくださいm(_ _)m ~次回は5月9日(金)開催予定です~

障がい者基幹相談支援センター 相談員を募集しています

採用人数：嘱託職員1名 採用予定日：令和7年4月1日 採用職種：社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、公認心理師、臨床心理士、相談支援専門員のいずれかの専門資格を有する人 受験資格：上記の資格を有し、次のすべてに該当する人 (①普通自動車運転免許 (AT限定可) を有する人、②パソコンの一般的な操作ができる人) 募集締切：3月7日(金)※郵送の場合7日(金)必着 提出書類：嘱託職員採用試験受付申込書 (指定様式) ※当会HPからダウンロードしてください。 採用試験：書類選考、面接試験 (3月16日(日)) 雇用条件：勤務時間38時間45分 報酬【参考】月額232,368円 (経年数により加算する場合あり) ※現時点での予定で変更になる場合があります。 その他、当会HP、事務局備え付けの募集要項をご覧ください。

- オープンカフェ (みんなの居場所事業) 原則毎月第2金曜日 10時~11時 障害者ふれあいセンター 予約不要 100円要
- 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい 原則毎月第2水曜日 10時~12時 障害者ふれあいセンター 予約不要
- いろとりどり (こどもの療育と支援を考える会) 原則毎月第3木曜日 10時~11時 予約不要

いつもあたたかいご協力ありがとうございます

- 善意銀行 受付随時 ■赤い羽根共同募金 毎年10月~12月 ■歳末助け合い募金 毎年12月

自治会福祉ネットワーク 助成事業



「自治会内での見守りや支え合い」「住民同士の助け合いの組織づくり」
をお考えの自治会の皆さまはぜひご利用ください

どんな活動に使えるの？

活動例をご覧ください



KATSUDOU 2 生活支援

- ①ごみ出し、電球換え、家具の移動、草引き、網戸・障子の張替え
- ②買い物（同伴、代行）など



KATSUDOU 4 啓発

- ①地域の情報交換会
- ②介護保険などの公的支援制度の研修会
- ③認知症や障がいなどに関する研修会など

KATSUDOU 1 見守り

- ①独居（日中独居含む）などの安否確認
- ②児童の登下校の付き添い
- ③防犯、防災パトロール
- ④話し相手ボランティア活動
- ⑤要支援者情報を落とし込んだ福祉マップの作成など



KATSUDOU 3 居場所づくり・仲間づくり

- ①子育て世代や障がいのある方が集える場の開設
- ②ふれあい喫茶の開設
- ③趣味の会の設立
- ④お祭りや食事会など



助成金額

年間上限5万円／1自治会あたり
(対象経費)

- ・会議開催費用
- ・器具備品消耗品購入費用
- ・印刷費用
- ・講師謝礼費用など

助成条件

- ・自治会内での見守りや支え合い活動に関連すること
- ・自治会内で了承を得られていること
- ・活動に関する書類を提出すること
(申請書、事業計画書、事業収支予算書など)
- ・社会福祉協議会との福祉懇談会を実施すること
※詳しくは本会までご相談ください

■暮らしの法律相談・弁護士相談 原則毎月第2木曜日13時～15時 障害者ふれあいセンター 次回相談日
前日12時迄の予約要(先着4名)
■暮らしの法律相談・司法書士相談 原則毎月第1・3木曜日13時30分～15時(第1)総合福祉会館(第3)
母里福祉会館 前月1日から予約受付
■障がい者基幹相談支援センター 相談随時 月～金曜日 8時30分～17時15分 祝日除く ☎079-492-5577

参加者募集

4月11日(金)の社協オープンかふえは

朗読劇「三途の川」

朗読ボランティア「せせらぎ」による
臨場感あふれる朗読劇をぜひ
10:00～10:30

♡朗読劇の後は、
オープンかふえでお過ごしください♡

日時：4月11日(金)
10:00～11:00
場所：障害者ふれあいセンター
2階 多目的室

参加費：100円(カフェ代)
どなたでもお越しください

【社協オープンかふえ】

福祉会費で実施する事業で、どなたでもお越し
いただける場です。
開催日時：原則毎月第2金曜日
10:00～11:30
参加費用：フリードリンク100円
(コーヒー・紅茶・お茶など
おかわり自由、お茶菓子付)

ふくしの今、現場から #01

日本の福祉は、家族の支え合いが重視されてきました。しかし、令和5年の国民生活基礎調査では単独世帯が全世帯の34%を占め、福祉人材不足もあり、行政や専門機関だけの支援も難しくなっています。そのため、地域でのつながりが再評価されています。

とはいえ、地域のつながりは支え手の補完ありきのものではありません。もっと大事なことは、人との交流を通じて暮らしに安心と彩りを添えるということだと思います。たとえば、見守り活動やいきいきサロン、地域食堂・喫茶などは孤立を防ぐ効果があり、地域福祉を支える鍵となります。

社協では地域づくりの支援や相談支援に力を入れており、現場の気づきを皆さんと共有し、一緒に考えていきたいと思っております。

—— to be continued ●●●

■介護相談・認知症相談 相談随時 月～金曜日9時～17時 祝日除く ☎079-492-8779
■ほっとファミリー(認知症を学ぶ会) 原則毎月第4木曜日10時～11時45分 障害者ふれあいセンター 予約不要
■さくら草の会(介護者の会) 原則毎月第4金曜日10時～11時30分 障害者ふれあいセンター 予約不要

わだい

福祉懇談会 見谷懇談会

令和6年12月22日(日)

高齢化に伴う現状や支援サービス、地域のつながりの大切さについて考えるとなりました。様々な意見を伺いました。



- ・免許返納による交通手段の不足(タクシー券の不足)
- ・自治会内で気になる方の個人情報取扱い
- ・空き家問題など

このような共有の機会を通じて地域、社協、行政などが今後も一緒に考えていけるとよいなと感じました。

赤い羽根共同募金配分金事業 福祉教育指定校事業

令和7年1月29日(水)
天満東小学校5年生
車いす体験
協力ボランティア2名



事前学習の後に、実際に体験をすることで積極的な学びになりました。

【感想】

- ・友達が丁寧に押してくれたのでよかった。
 - ・少しの段差でもあがりにくいのだと分かった。
- ～福祉教育指定校事業は、体験学習を通して福祉への理解と関心を深め、こどもたちの思いやりの心を育むための事業です。

ふくし豆知識 3月3日はみみの日 ～イヤホン難聴に注意～

イヤホンで好きな音楽を聴ける時代。使い方次第では、難聴になるリスクが高まることをご存じでしょうか。

耳の健康のために予防がとても大切です。WHOでは、イヤホンを使用する際に以下の予防法を推奨しています。

- 音量の大きさ(装着時に声を張り上げず、他人と会話できるレベルが目安)
- 長時間聴かず、適度に休憩を挟む(目安は1時間に10分間)
- 使用時間を1日1時間未満に抑える
- 周囲の騒音を低減する「ノイズキャンセリング機能」付きのイヤホンを選ぶ